

横河電機株式会社

2013年3月期 第1四半期
決算説明会

2012年8月10日

常務執行役員 コーポレート本部長 鈴木 周志

1. 長引く欧州金融不安、中国やインドなど新興国の経済成長の減速など、不透明な世界経済のもと、エネルギー・電力分野で堅調に推移している制御事業を中心に積極的に事業展開し、前年同期と比較して売上高が増加。売上高の増加に伴う粗利増加により、営業利益も増加。

制御事業：日本市場では厳しい状況が続いたものの、海外市場では、LNG関連の大口受注を獲得するなど、前期に引き続きエネルギー関連市場での需要が堅調に推移。受注高は海外市場で為替の影響を受けたこと、国内市場の低迷により減少。売上高は国内海外ともに前年同期と比べ増加し、営業利益は売上高の増加に伴う粗利増加により、前年同期と比べて大幅増加。

計測機器事業：測定器ビジネスにおける、中国や欧米などの海外市場での需要減速や、フォトニクスビジネスからの撤退及び、半導体テストビジネスの終息に関する意思決定などの影響を受け、売上高は前年同期と比べ減少。営業損益は構造改革による固定費及び研究開発費の減少により、損失が減少。

2. 遊休資産の売却に関する特別利益の計上等により、四半期純利益は前年同期より大幅増加。

(億円)

	FY11 1Q 実績	FY12 1Q 実績	差異
受注高	950	913	▲37
売上高	700	750	50
営業利益	5	29	24
経常利益	▲5	23	28
四半期純利益	▲25	41	66

FY12 経営計画

YOKOGAWA 

(億円)

		FY11 実績	FY12 計画	差異
受	注 高	3,441	3,500	59
売	上 高	3,347	3,390	43
営	業 利 益	166	190	24
経	常 利 益	140	160	20
当	期 純 利 益	60	130	70
為 替 レ ー ト	1\$= 1€=	78.82円 109.34円	79.00円 100.00円	0.18円 ▲9.34円

FY12 1Q 経営成績(対前年同期比)

YOKOGAWA ◆

(億円)

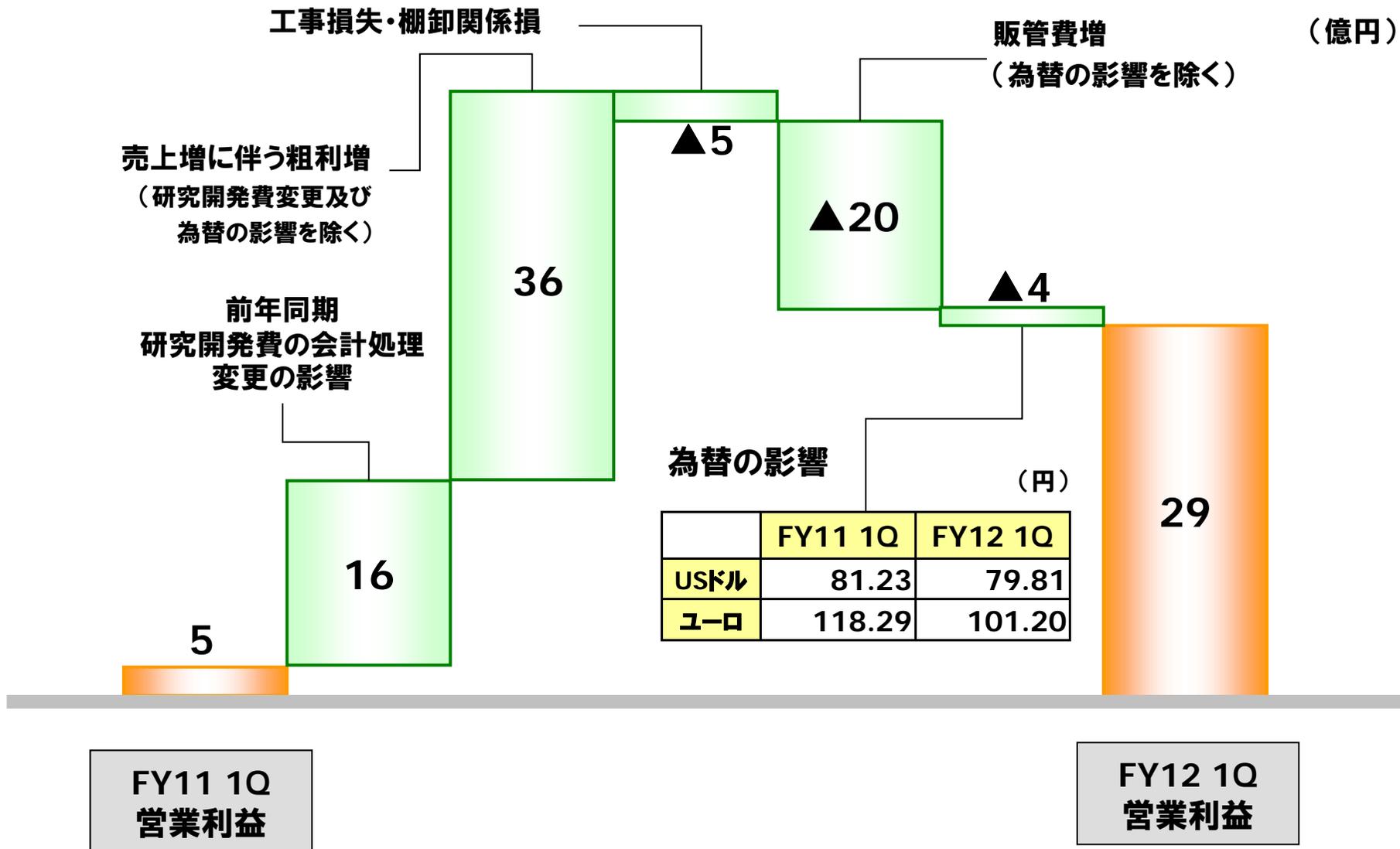
	FY11 1Q	FY12 1Q	増減率	差異
受注高	950	913	▲4.0%	▲37
売上高	700	750	7.2%	50
営業利益	5	29	459.6%	24
経常利益	▲5	23	—	28
四半期純利益	▲25	41	—	66
為替レート	1\$= 118.29円	79.81円 101.20円	—	▲1.42円 ▲17.09円

◆制御事業の海外市場における受注高は円高の影響を受けながら増加したものの、国内市場での受注高の減少、計測機器事業での撤退や終息の意志決定の影響を受け、受注高は減少
(為替影響額:受注高▲52億円 売上高▲39億円)

◆営業利益は、主に売上高の増加に伴う粗利増加により前年同期に比べて大幅増加

◆固定資産売却益38億円の特別利益により四半期純利益は前年同期に比べ大幅増加

FY12 1Q 営業利益分析



四半期別 経営成績

YOKOGAWA ◆

(億円)

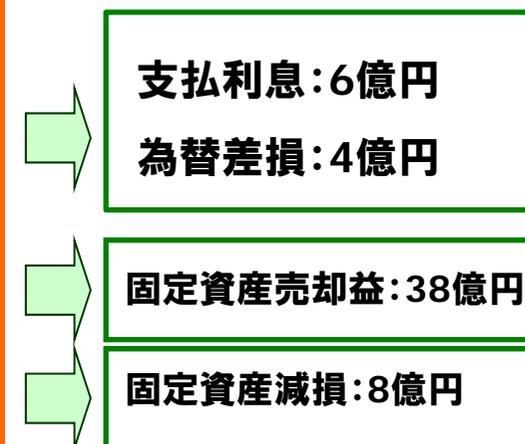
	FY10				FY11				FY12
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
受注高	880	817	784	860	950	840	752	1,019	913
売上高	662	871	752	971	700	878	757	1,026	750
営業利益	▲6	45	8	64	5	63	25	56	29

◆営業利益は、第1四半期としてはFY04 1Q以来となる2桁台の黒字を確保

営業外・特別損益

(億円)

	FY11 1Q	FY12 1Q
営業利益	5	29
営業外収益	7	7
営業外費用	18	13
経常利益	▲5	23
特別利益	1	38
特別損失	7	8
税引前利益	▲12	52
法人税等	13	11
四半期純利益	▲25	41

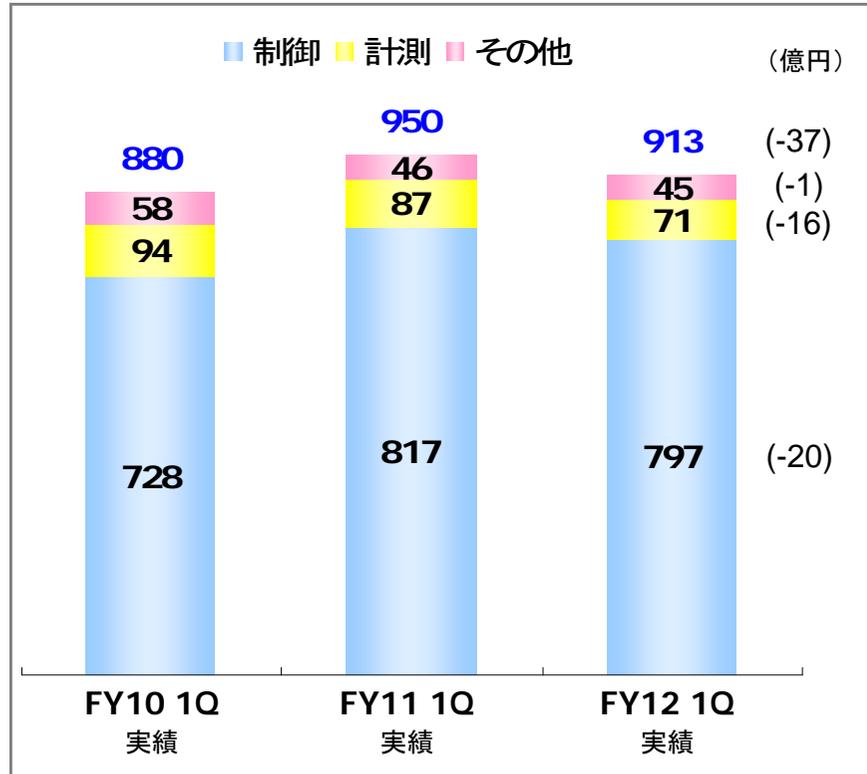


◆遊休資産の売却益により特別利益を計上

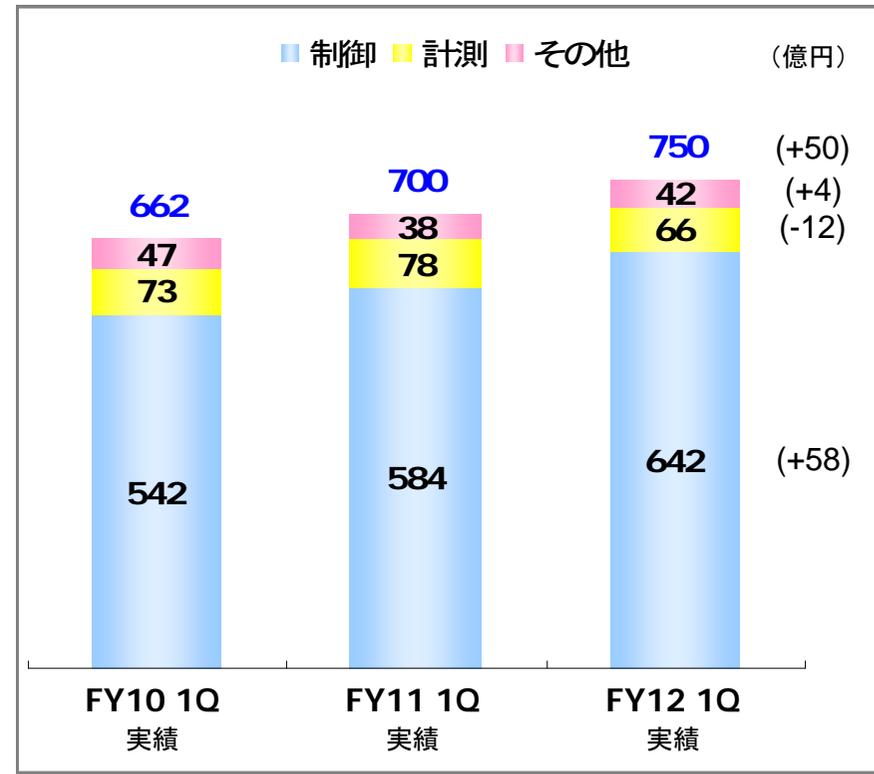
◆固定資産の減損による特別損失を計上

セグメント別 受注・売上(対前年同期比)

受注高



売上高



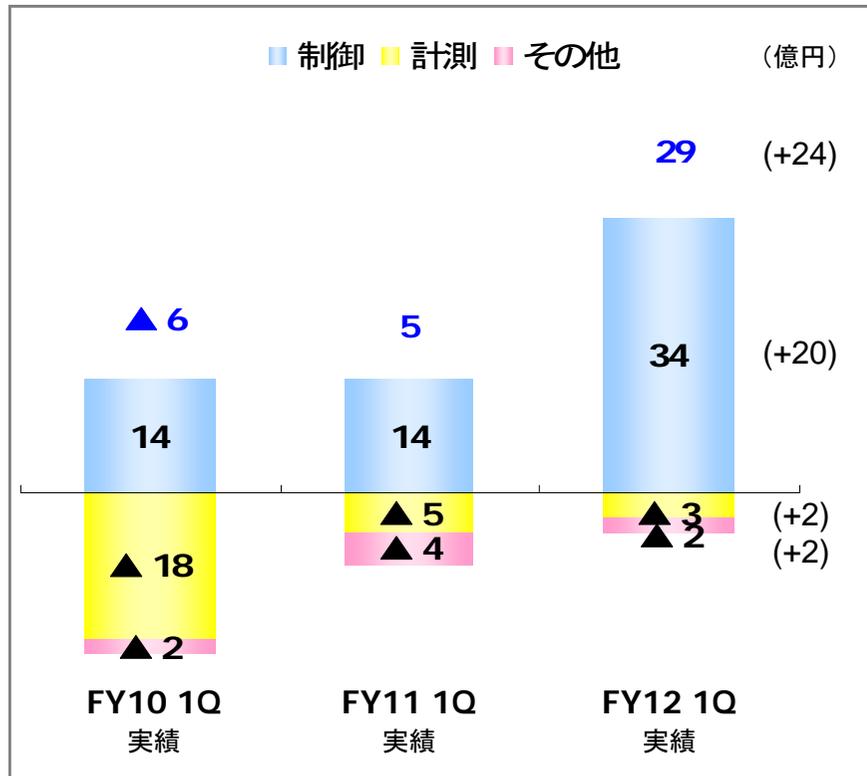
◆**制御事業**:オーストラリアや北米などの海外市場が好調に推移した一方、国内市場は受注高が減少
(為替影響額:受注高▲50億円 売上高▲38億円)

◆**計測機器事業**:測定器ビジネスにおける、中国や欧米などの海外市場での需要減速や、フォトニクスビジネスからの撤退及び、半導体テストビジネスの終息に関する意思決定などの影響を受け、受注高、売上高は前年同期と比べ減少

セグメント別 営業利益(対前年同期比)

営業利益

(億円)



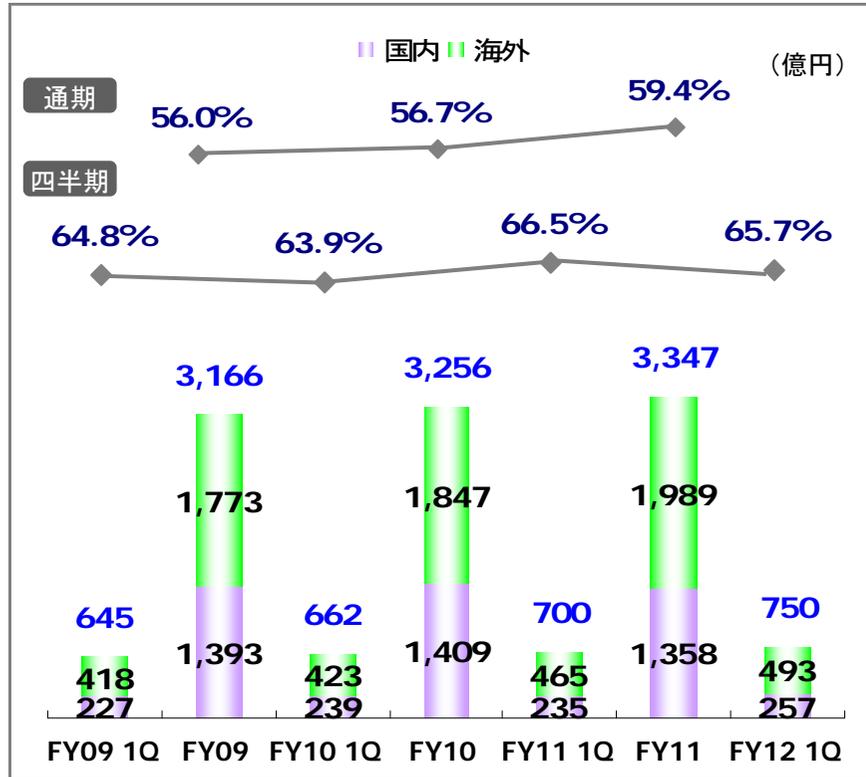
	FY11 1Q 実績	FY12 1Q 実績	差異
制 御	14	34	20
計 測	▲5	▲3	2
そ の 他	▲4	▲2	2
合 計	5	29	24

◆制御事業：売上高の増加に伴う粗利の増加により営業利益が増加

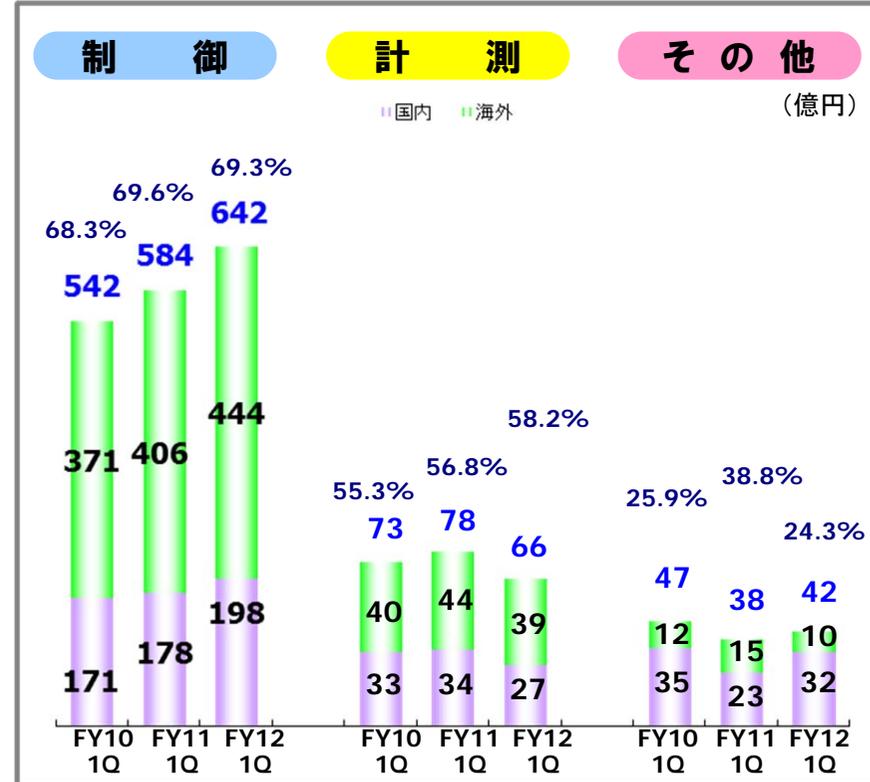
◆計測機器事業：構造改革による固定費及び研究開発費の減少により、損失が減少

海外売上高

全社

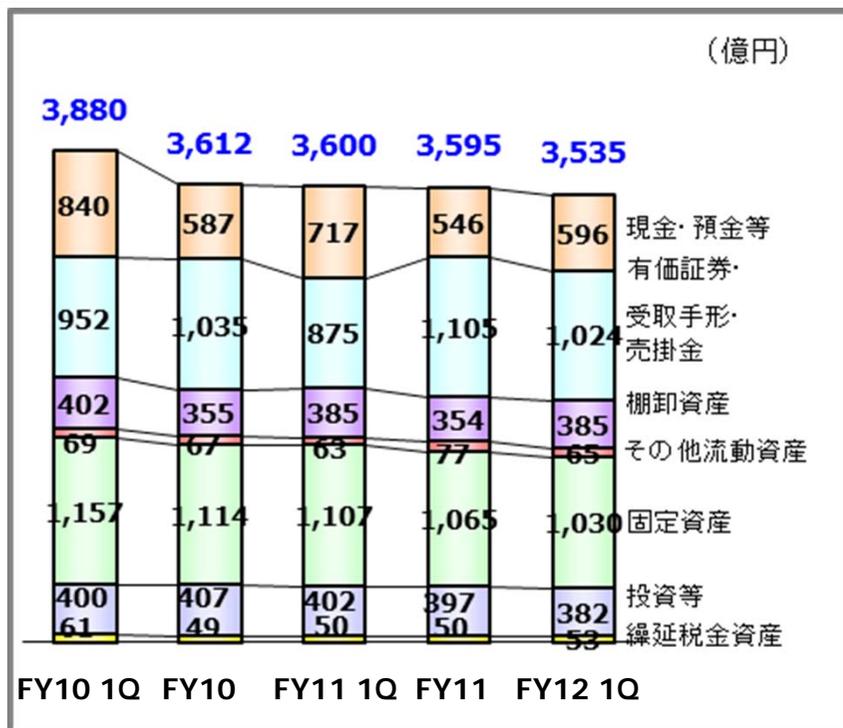


セグメント別



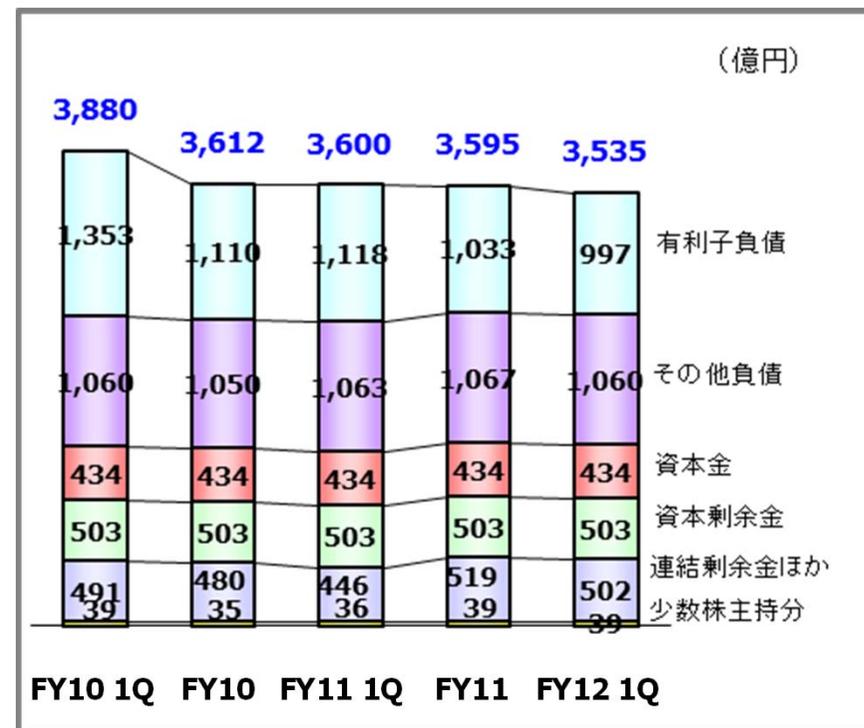
貸借対照表

資産



	FY10 1Q	FY10	FY11 1Q	FY11	FY12 1Q
総資産回転率	-	0.86	-	0.93	-
自己資本比率	38.5%	36.8%	39.2%	40.5%	40.7%

負債・資本



	FY10 1Q	FY10	FY11 1Q	FY11	FY12 1Q
D/Eレシオ	94.7%	78.3%	80.8%	70.9%	69.2%
有利子負債比率	34.9%	30.7%	31.0%	28.7%	28.2%

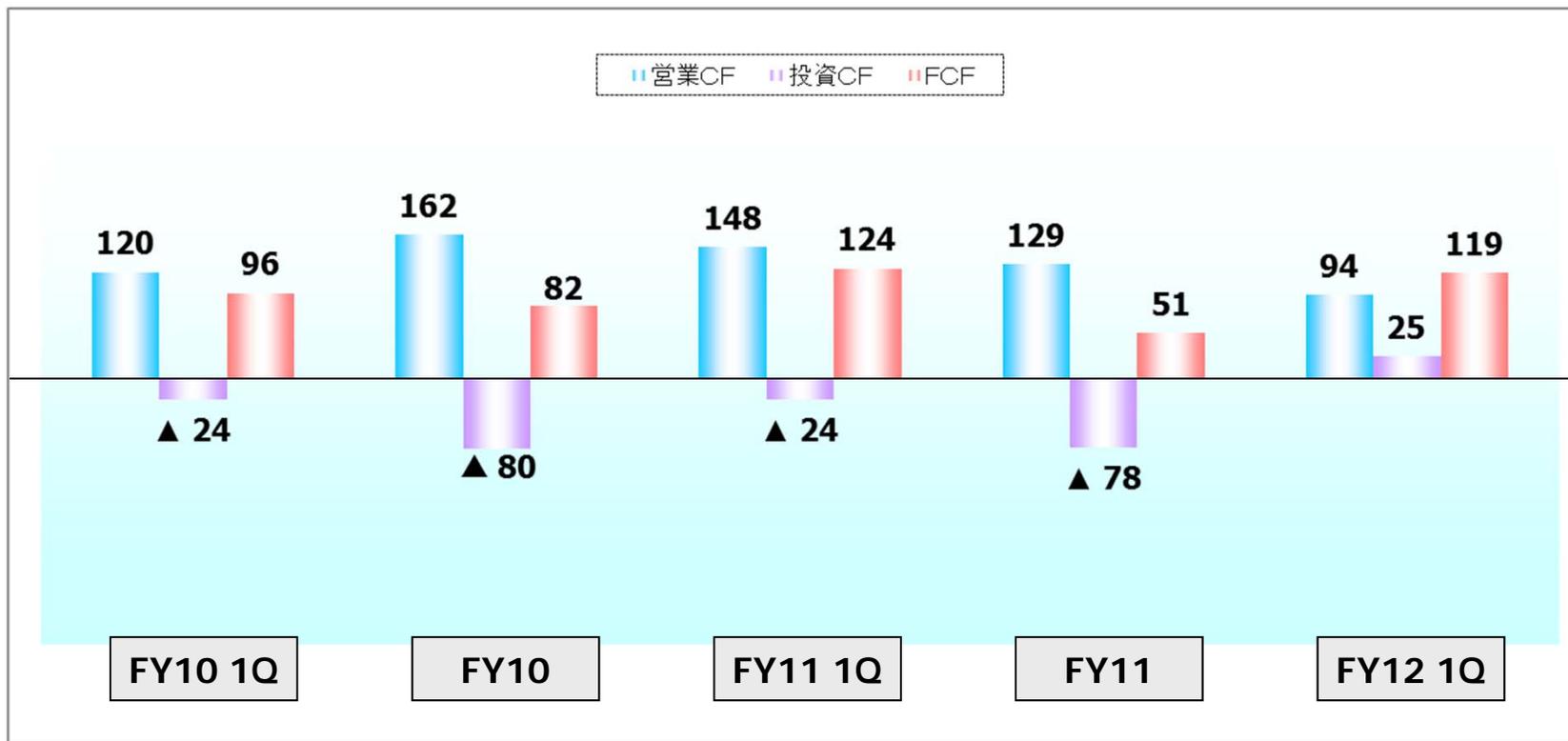
◆回収に伴う売掛債権の減少、円高に伴う円換算売掛金の減少により、受取手形・売掛金が減少

◆有利子負債の減少によりD/Eレシオが改善

キャッシュ・フロー

YOKOGAWA ◆

(億円)



◆売掛債権流動化の一部未実施等により、営業キャッシュ・フローが減少

◆遊休資産の売却による収入等の結果、投資キャッシュ・フローがプラスに転じ、フリー・キャッシュ・フローは前年同期並み

FY12 修正計画

(億円)

		FY12 1H 計画			FY12 年間計画		
		当初(5/11) (A)	修正(8/10) (B)	差異 (B-A)	当初(5/11) (C)	修正(8/10) (D)	差異 (D-C)
受注高		1,700	1,830	130	3,500	3,560	60
売上高		1,610	1,640	30	3,390	3,470	80
営業利益		70	75	5	190	200	10
経常利益		50	55	5	160	170	10
当期純利益		60	55	▲5	130	135	5
為替レート	1\$= 1€=	79.00円 100.00円	79.00円 100.00円	0円 0円	79.00円 100.00円	79.00円 100.00円	0円 0円

◆受注高・売上高予想は制御事業での新興国・資源国のエネルギー関連市場が想定よりも堅調に推移していることから、それぞれ通期で60億円、80億円の上方修正

◆通期営業利益予想10億円の上方修正は制御事業の通期営業利益予想を10億円上方修正したことによるもので、これに伴い、経常利益予想を10億円、当期純利益予想を5億円それぞれ上方修正

FY12 営業外損益・特別損益 修正計画

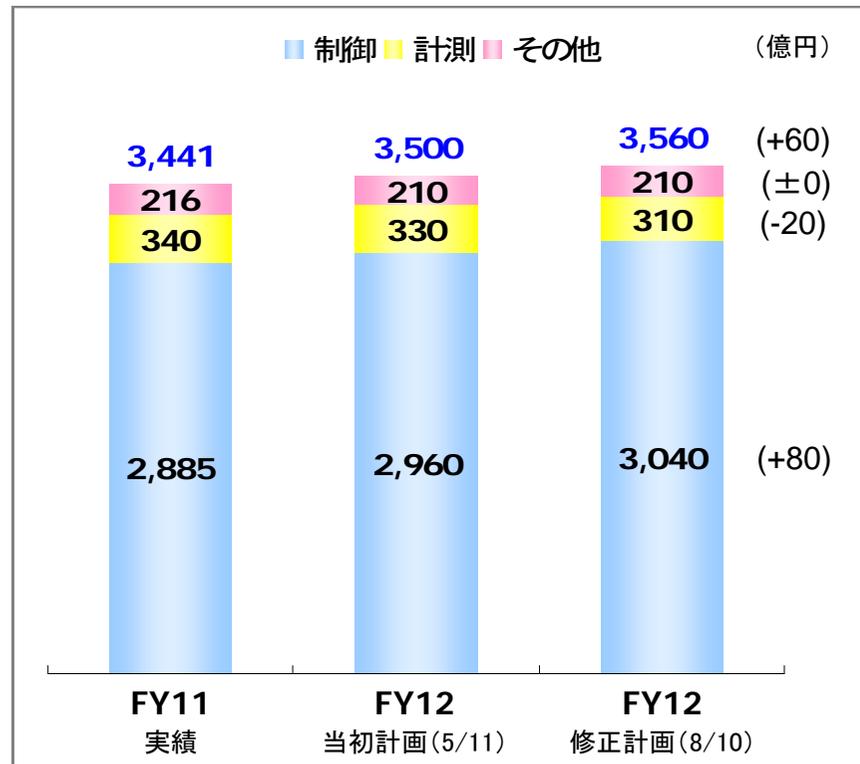
YOKOGAWA ◆

(億円)

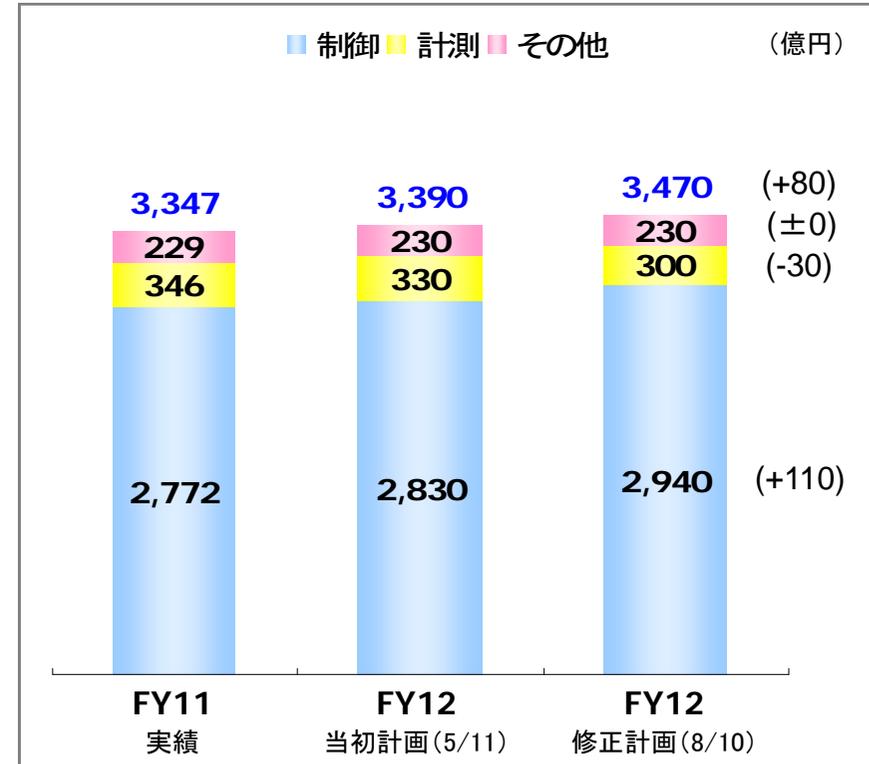
	FY12 年間計画		
	当初(5/11)(A)	修正(8/10)(B)	差異 (B-A)
営業利益	190	200	10
営業外収益	▲30	▲30	0
営業外費用			
経常利益	160	170	10
特別利益	35	25	▲10
特別損失			
税引前利益	195	195	0
法人税等	65	60	▲5
当期純利益	130	135	5

FY12 セグメント別 受注・売上 修正計画

受注高



売上高



◆**制御事業**：海外市場を中心に想定よりも堅調に推移していることから、受注高は通期で80億円上方修正、それに伴い、売上高は上期50億円、下期60億円それぞれ上方修正し、通期で110億円の上方修正

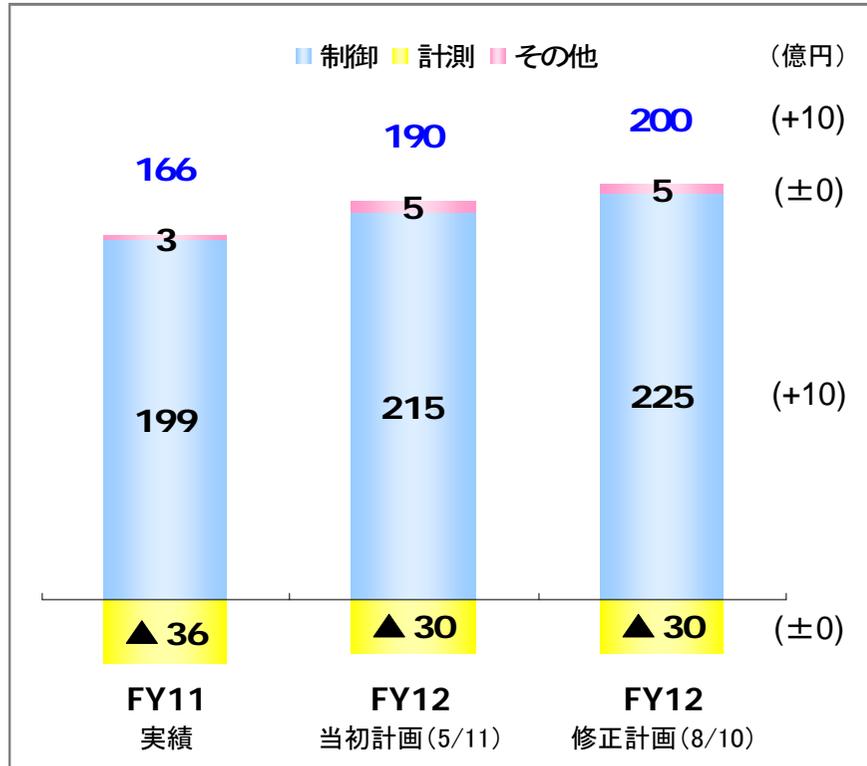
◆**計測機器事業**：測定器ビジネスにおける、中国や欧米などの海外市場での需要減速などの影響により、通期受注高予想を20億円下方修正、通期売上高予想を30億円下方修正

◆**その他事業**：受注高、売上高ともに修正なし

FY12 セグメント別 営業利益 修正計画

営業利益

(億円)

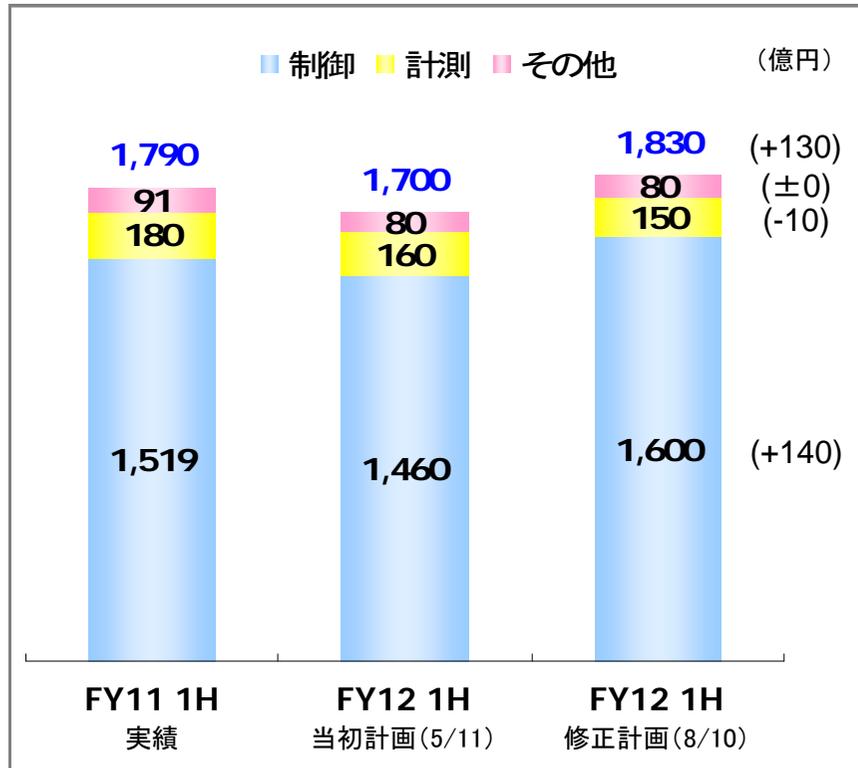


	FY12 当初計画 (5/11)	FY12 修正計画 (8/10)	差異
制 御	215	225	10
計 測	▲ 30	▲ 30	0
その他	5	5	0
合 計	190	200	10

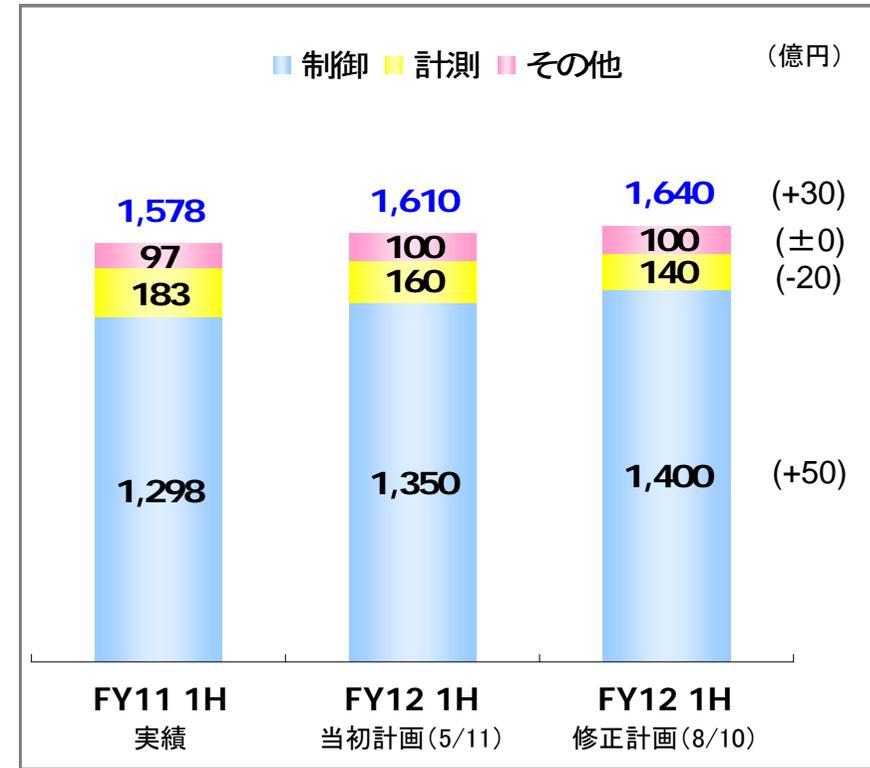
- ◆制御事業: 上期の予想は据え置き、下期の予想を10億円上方修正し、通期で10億円の上方修正
- ◆計測機器事業: 半導体テストビジネスの1Q実績に鑑み、上期の営業利益予想を5億円上方修正したが、通期では修正なし
- ◆その他事業: 修正なし

FY12 1H セグメント別 受注・売上 修正計画

受注高



売上高



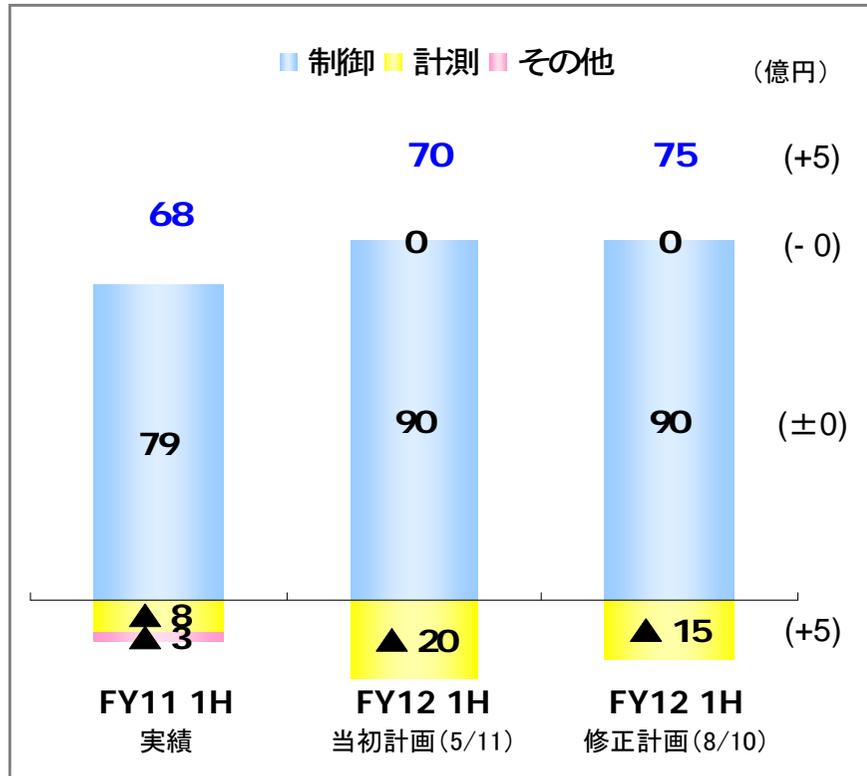
◆制御事業：大口受注が当初想定よりも上期に前倒しで計上できる見通しであることから、上期受注高を140億円上方修正し、売上高は50億円上方修正

◆計測機器事業：測定器ビジネスにおける中国や欧米などの海外市場での需要減速などにより、上期受注高・売上高はそれぞれ10億円、20億円下方修正

FY12 1H セグメント別 営業利益 修正計画

営業利益

(億円)



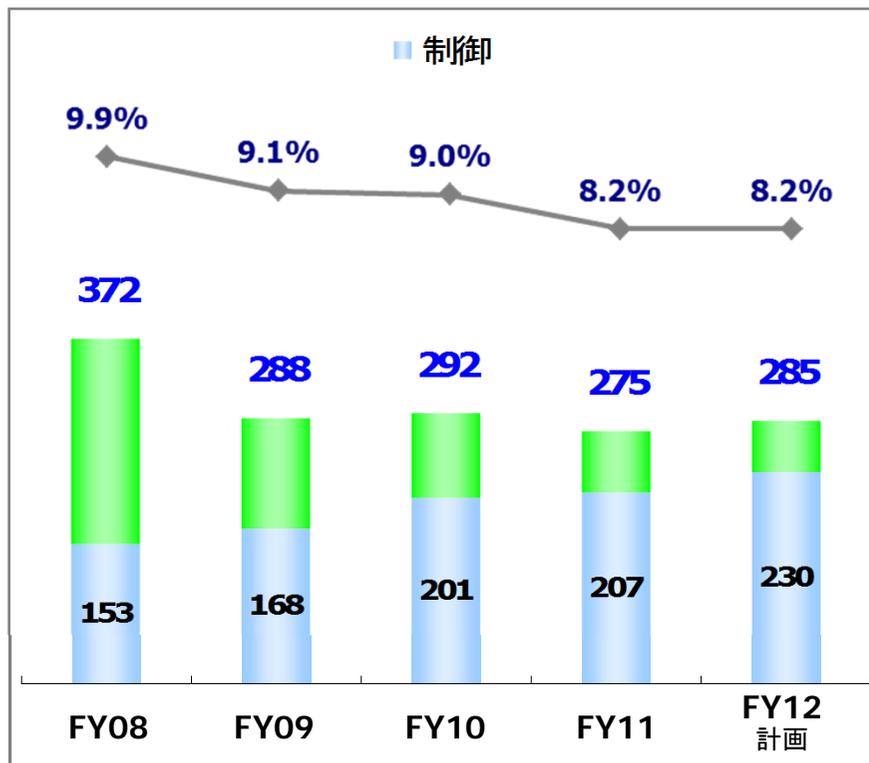
	FY12 1H 当初計画 (5/11)	FY12 1H 修正計画 (8/10)	差異
制 御	90	90	0
計 測	▲ 20	▲ 15	5
そ の 他	0	0	0
合 計	70	75	5

◆制御事業:上期の予想は据え置き

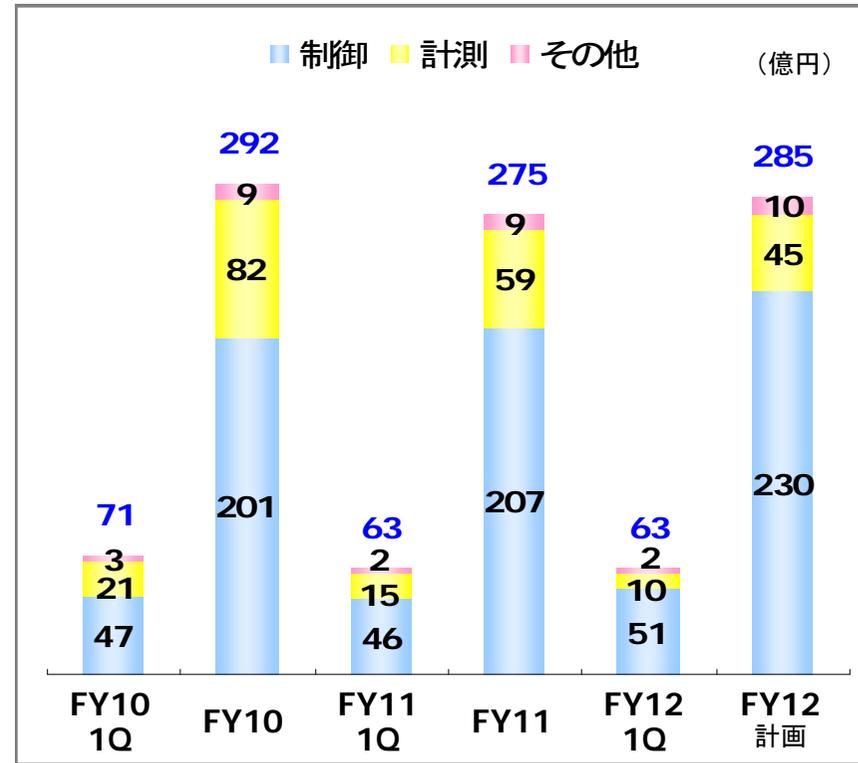
◆計測機器事業:半導体テストビジネスの1Q実績に鑑み、上期の営業利益予想を5億円上方修正

研究開発費

全社

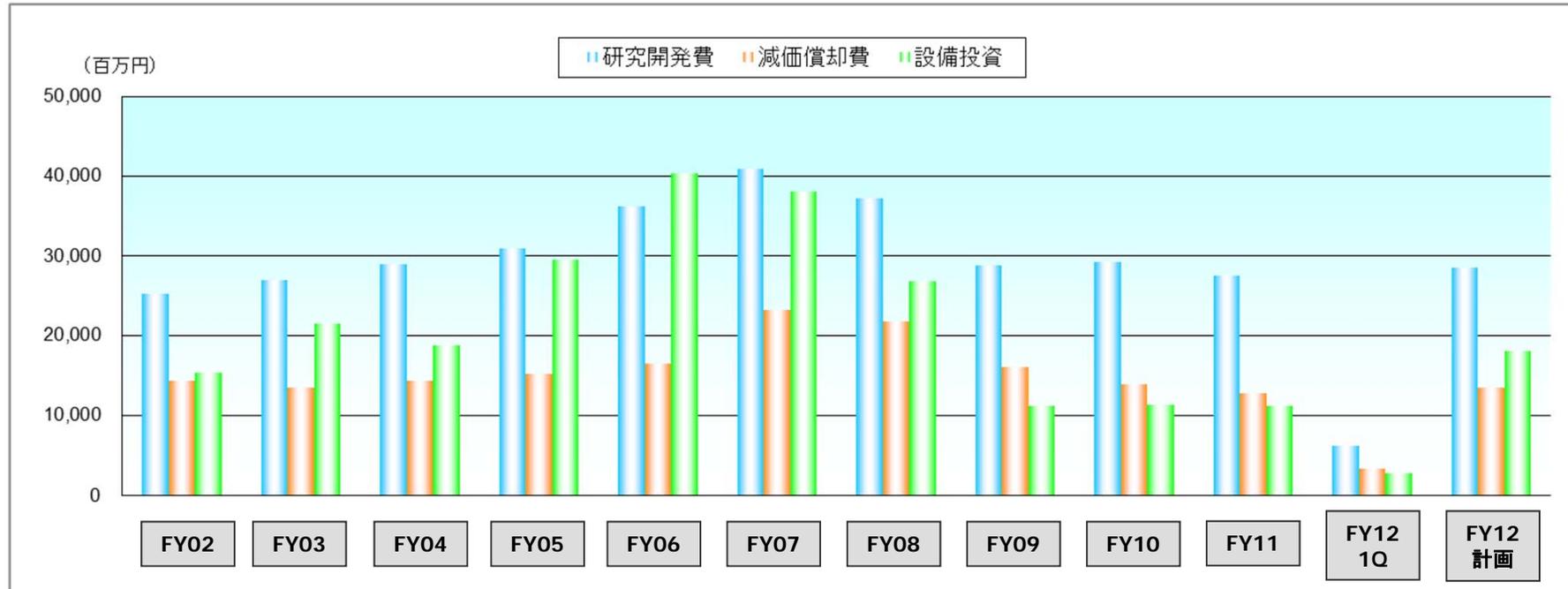


セグメント別



◆制御事業：ソフトウェア他新製品への投資

研究開発費・減価償却費・設備投資

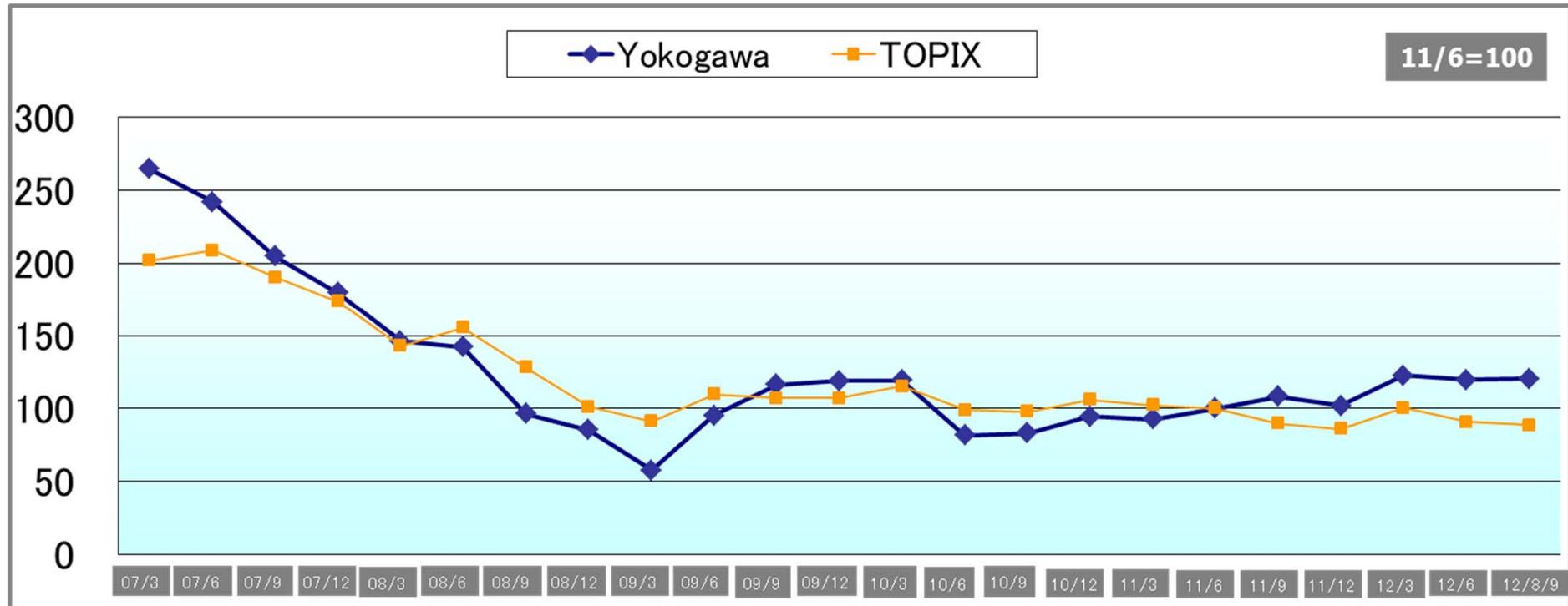


(百万円)

	FY02	FY03	FY04	FY05	FY06	FY07	FY08	FY09	FY10	FY11	FY12 1Q	FY12 計画
研究開発費 (対売上高比率)	25,233 7.7%	26,991 7.3%	28,998 7.5%	30,917 8.0%	36,223 8.4%	40,875 9.3%	37,229 9.9%	28,786 9.1%	29,179 9.0%	27,472 8.2%	6,253 8.3%	28,500 8.2%
減価償却費 (対売上高比率)	14,298 4.3%	13,455 3.6%	14,331 3.7%	15,124 3.9%	16,483 3.8%	23,129 5.3%	21,615 5.7%	16,033 5.1%	13,836 4.2%	12,756 3.8%	3,316 4.4%	13,500 3.9%
設備投資 (対売上高比率)	15,264 4.6%	21,355 5.7%	18,652 4.8%	29,540 7.6%	40,284 9.3%	37,990 8.7%	26,813 7.1%	11,125 3.5%	11,337 3.5%	11,143 3.3%	2,705 3.6%	18,000 5.2%

◆研究開発、減価償却、設備投資計画は変更なし

株価の状況



	07/3	07/6	07/9	07/12	08/3	08/6	08/9	08/12	09/3	09/6	09/9	09/12	10/3	10/6	10/9	10/12	11/3	11/6	11/9	11/12	12/3	12/6	12/8/9
Yokogawa	1,806	1,654	1,398	1,228	998	971	659	582	394	650	795	812	814	557	568	646	634	683	740	695	837	818	822
TOPIX	1,714	1,775	1,617	1,476	1,213	1,320	1,087	859	774	930	910	908	979	841	830	899	869	849	761	729	854	770	752

	07/3	07/6	07/9	07/12	08/3	08/6	08/9	08/12	09/3	09/6	09/9	09/12	10/3	10/6	10/9	10/12	11/3	11/6	11/9	11/12	12/3	12/6	12/8/9
Yokogawa	264	242	205	180	146	142	96	85	58	95	116	119	119	82	83	95	93	100	108	102	123	120	120
TOPIX	202	209	190	174	143	155	128	101	91	110	107	107	115	99	98	106	102	100	90	86	101	91	89

5
月

23日 豪州のイクシスLNGプロジェクト向け制御システムの受注内定

6
月

15日 統合生産制御システム「CENTUM® VP」の機能を強化

25日 インドの大型火力発電所向け制御システムを一括受注

27日 第136回定時株主総会開催

7
月

9日 沖縄県から「海洋深層水の利用高度化に向けた発電利用実証事業」を受託
～海洋温度差発電の実証試験を実施～

11日 マレーシアのガス複合火力発電所向け制御システムを一括受注

24日 国内制御事業における販売・サービス体制の再編を発表

図 海洋温度差発電の原理



本資料およびアナリスト説明会で提供する情報のうち業績見通し及び事業計画等に関するものは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいております。従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。